

平成28年度 第2回宮代町立図書館協議会議事録

■日時：平成28年12月8日（木）16時00分～17時40分

■場所：宮代町立図書館ホール

■出席者（順不同、敬称略）

◇委員：村山ふさ江（委員長）、今泉勲（副委員長）、国川恵子、二階堂正枝、
遠藤和代、菊地正明（欠席委員：八重樫元、山西美由紀）

◇事務局：佐藤生涯学習室長、田中主査

◇指定管理者：山本図書館長、関根一般チーフ、水口児童チーフ、
永堀一般サブチーフ、清水

■傍聴者：1名

■次第

1 開会

2 挨拶

3 報告事項

(1) 平成28年度上期の図書館事業報告について 資料1

4 その他

5 閉会

■会議概要

◇3 報告事項(1)平成28年度上期の図書館事業報告について

・図書館長から説明後、質疑応答及び委員意見。

◇4 その他

・会議の司会進行について（委員からの提案）

→すべての委員に意見を求めるようにする。

・駐車場混雑への対策について（委員等からの提案）

→事務局で対策を検討する。

・図書館協議会の委員改選について（事務局から事務連絡）

→現在の委員任期は、平成29年3月末で満了。現在、公募委員の募集を開始している。その他の委員については、個別に再任等の相談をさせていただく。

■会議詳細

◇3 報告事項(1)平成28年度上期の図書館事業報告について

…図書館長から資料1「平成28年度上期事業概要」について説明。

《質疑応答等》

委員：入館者数については、昨年と同じ状況という理解でよいか。

図書館：前年度比100%なので同じ状況ということ。

委員：貸出者数（一日当たり）は、3%減っているが、周辺自治体の図書館の状況は把握しているのか。先日、杉戸町の生涯学習施設と併設されている図書館が企画した、閉館後に受験生向けに図書館を開放するという取り組みが新聞に掲載されていた。図書館の事業というよりも生涯学習の拠点施設としての事業という性格もあると思うが、利用率を向上させる取り組みの一つとして参考になるのではないかと。また、図書館の魅力

は、新刊図書や利用者のニーズに応じた蔵書であり、町の予算の制約もあると思うが、これを充実できるように引き続きお願いしたい。

図書館：県内の公立図書館の貸出者数の実績については、県の図書館協会が毎年度集計、発行しているので、その数値を拾えば、周辺図書館の状況を把握することができる。ただし、年度ごとの実績データのみで前年比が掲載されていないので、経年変化については、次回の会議までに整理して報告させていただきたい。

委員：昨年か一昨年、ティーンズの書架の場所を移動して開架冊数も増やしたが、ティーンズの貸出冊数の変化、つまりコーナーを増やした効果を把握することはシステムの出来ないのか。

図書館：効果を知りたいところだが、貸出データの分類でティーンズという分類がないので、残念ながら、統計的な変化を把握することはできない。

委員：感覚的には、効果が感じられているか。

図書館：児童書とティーンズが隣り合うようになったので、小学校高学年の児童にとっては、慣れている児童書のコーナーから自然にティーンズのコーナーに流れていける、という部分では使いやすくなったのでは、と感じている。

図書館：特集として表紙を見せて置けるようになったので、こうした本については動きが出てきているように感じる。

委員：大人にとっては、行きづらい配置になったような気もするが。

図書館：パソコン利用席から近い場所なので、大人の方も通りすがりに見ているように感じられる。

委員：図書館の司書スタッフが町内の小中学校の図書室の支援を行っているが、これに関して、司書の皆さんが現場で感じている課題等があれば教えてほしい。

図書館：小中学校には、専門の司書が配置されていない。図書室担当の司書教諭は、学級担任や授業との兼務で忙しい中で一緒に活動してくれているが、週1回2時間という短い巡回時間ということもあり、十分な打ち合わせの時間を設けることが難しいケースもある。幸い、各校のボランティアの方々の支援もあり、以前と比べ図書室の整備はかなり進んできたのではないかと考えている。

委員：学校の先生が忙しいことは理解できるが、もう少し積極的になってもらうように図書館から働きかけをすることはできないのか。

委員：それは図書館ではなく教育委員会から働きかけてもらわないと無理。教育委員会として専任の司書を配置してもらうことが必要。それでも、図書館の司書が週1回来て、司書の先生やボランティアの方々と活動してくれているおかげで、図書室の整備は格段に進んでいる。司書の先生が中心となって他の先生方への啓発等にも努力してもらっており、これ以上ということになるとやはり専任の司書を置くしかないと思うが、予算がないので難しいということ。学校の図書室の重要性をどれだけ教育委員会が認識してくれるか、というところが一番大きいと思う。すぐには、難しいであろうが、あきらめずに少しずつでも良い方向に向かっていく

ように働きかけていくしかないと思いながら活動している。

委員：図書館の重要課題として学校支援に取り組み、実績も上がってきているので、この状況でさらに上を目指していくには、学校や教育委員会の協力が不可欠ではないかと思う。

委員：学校や先生方にもいろいろと望むことはあるが、学校には、子どもの読書については、たくさんの本を読むことよりも、良い本をじっくりと読むことの方が大切であるということを声を大にして伝えていきたいと考えている。数は目に見えるので学校の実績としてわかりやすいが、子ども達に本を読ませる目的は、数を多くではなく、質の良い本をしっかりと読んでもらいしっかりと育っていつてもらうことであり、何でもよいからたくさんではなく、質の良い本をしっかりと読んでもらえるような読書指導に変えていつてもらいたいというのが私たちの願いである。

委員：読書の時間を設けている学校は何校程度あるのか。

委員：すべての学校で朝読書を実施している。ただし、そこで何を読んでいるのか、ということが課題。先生方にも一緒に本を読んでもらうなど、先生方の意識も高めていつてもらいたい。

委員：先ほど画像で説明してもらった郷土資料のデジタル化事業は、以前説明のあった1千万円の補助金を活用して実施しているものなのか。

図書館：そのとおり。

委員：撮影している郷土資料は、町の郷土資料館だけではなく、いろいろな場所から集めているのか。

図書館：基本的には郷土資料館、町にある郷土資料であるが、西光院の阿弥陀三尊像の画像データなど一部は、東京国立博物館から提供を受けている。なお、今回画像化した郷土資料は、郷土資料館の学芸員として調整して選定しているものである。

委員：来年の2月に公開ということなので、町としても大々的にPRしてほしい。非常に良くできているので、これをきっかけに郷土の歴史に興味を持つ子どもが増えるのではないか。ぜひ学校でも活用してもらいたい。

事務局：先ほど館長から説明があった通り、学校での活用をはじめ、多くの人に活用いただけるように積極的にPRしていきたい。また、関連して、現在郷土資料館で、今回デジタル化した郷土資料の一つとして紹介された徳川家康の画像など、町の指定文化財を展示した特別展を12月25日まで開催しているので、ぜひ足を運んでいただきたい。

委員：郷土資料のデジタル化は、広報でも紹介されていたが、文章よりも実際の画像を見てもらったほうがわかりやすいので、いろいろとPRを工夫したほうが良いと思う。

図書館：郷土資料館にもポスターやチラシを置いてもらう。また、PRの一環として、デジタル化した資料を使った郷土史講演会を全6回で開催するので、委員の皆さんにもぜひご参加いただきたい。

事務局：先ほどビブリオバトルの参加者や聴衆が少なかったと説明があったが、当日は、参加者から非常に迫力がある本の紹介が繰り広げられ、高校生がいるなかで中学生が優勝する結果であった。全国大会も行われている

ので、いずれは町内で予選が行われて全国大会に出場するくらいに普及していったら良いと考えている。委員の皆さんにも聴衆という形でも、一緒に盛り上げていただけるとありがたい。

委員：先日、ビブリオバトルに参加した生徒が所属する中学校に行った際に、中学校でビブリオバトルを開催しようという計画が出てきていると、うれしい話を聞いたが、一方で、参加者がいなかった学校では、まったく動きがない状況。これから普及していくためには、学校長や理解のありそうな先生に、ビブリオバトルの存在や効果を伝えていくことが必要。

事務局：埼玉県では、高校での普及に取り組んでいるが、普及活動に熱心に取り組んでいる文教大学の先生とパイプを持つことができたので、今後、町内の中学校に広げていく際にも力を貸していただければと考えている。

委員：意欲のある先生が動き出してくれれば、一気に普及していくのだと思うが、そこが一番難しいところである。

事務局：学校の先生方もいろいろと忙しい中で新しい事業に取り組んでもらうのは難しい部分もあるが、少しずつでも普及していけるような方策を考えていきたい。

委員：日工大のロボットの講演会は面白かったが、テーマには無かった知能ロボットについての質問が多かった。次回は知能ロボットの話も入れて欲しい。

委員：大学との交流や連携については、進修館で行われている町民まつりでも多くの学生がスタッフとして参加して盛り上げてくれている。図書館でも、もっと積極的に推進したほうがよい。日工大の学生の図書館の利用はどの程度あるのか。

図書館：日工大生の利用は少ないが、連携事業については、昔から毎年、お話の会スウスと日工大吹奏楽団との共催で「おとなのための昔話と音楽のつどい」が開催されている。また、今年の10月には、建築学科の学生約60名が、授業の一環として図書館の見学に来館している。

委員：蔵書数について、購入2,412冊のうち児童書は、何冊あるいは何割程度か。

図書館：一般が1,794冊、児童書が618冊で、ほぼ1/4である。

委員：蔵書の総数は何冊か。

図書館：図書のみで253,601冊である。

委員：今月の広報で図書館の特集してもらったが、町の方々に図書館の魅力を知っていただき、多くの方に利用していただくきっかけになると良い。

図書館：特集のページの中で、お助け隊の募集も掲載させていただいた。

委員：早速、本日、新しい方が一人応募して来てくれた。さらに多くの方にご協力いただけるとありがたいので、みなさんからもぜひPRしていただきたい。

委員：あかちゃんタイムにご協力ください、と掲示があるが、うるさいなどの苦情は前よりも減っているのか。

委員：前から苦情があったからというわけではなく、赤ちゃん連れの方にも遠慮なく来館してほしいという考え方で導入したものと聞いている。

図書館：その通りで、赤ちゃん連れの方にも気兼ねせず来館いただけるために導入したもの。

委員：ブックスタートの時にお母さん方に図書館の利用を勧めると、子どもが泣いたり本を汚してしまうから行きづらいという話を聞くが、心配しないで来てくださいとお伝えしている。

◇4 その他

委員：図書館協議会の進め方についてであるが、本日は学校の先生の委員が欠席しているが、先生方を含め、会議の際には、必ず一人一人に発言していただくように、少なくとも意見を求めるように司会進行してほしい。発言の多い方と少ない方の差が大きすぎると思う。

委員長：これまでも必ず一人一言に、少なくとも一回は発言していただくようにしてきたと思うが、ご指摘を踏まえ今後も実施していくようにする。

委員：ボランティアのスウスの会が行っている「おはなし会」にいつも来てくれている親子がいるが、先日、ホールの催しと重なって駐車場が満車で使用できず有料駐車場を使用していた。満車の場合は、保健センターの駐車場を借りるなどの工夫は出来ないか。

図書館：駐車場については、保健センターで健診など多くの人が集まる際には、保健センター利用者も図書館の駐車場を当然のように使用している状況である。健診の際は、保健センターから図書館の駐車場の利用について連絡を頂いてはいるが、実際のところ、町民の方にとっては、ここは保健センター駐車場、ここは図書館駐車場という意識はなく、どちらも町の駐車場という認識であると思われる。そうであれば図書館も保健センターも同じ町の施設であるので、駐車場を共有、どちらの停めても良いということにしてしまっても良いのではないかと考えている。

事務局：現在は、土日に図書館の行事等で混雑が予想される際は、あらかじめ保健センターの駐車場利用の調整をさせていただいているが、共有化については、課題の有無を含め検討させていただきたい。

事務局：現在の委員任期は、平成29年3月末で満了となる。現在、公募委員の募集を開始している。その他の委員については、個別に再任等の相談をさせていただく。

事務局：次回会議については、3月上旬～中旬で日程調整させていただく。

以上